

食料危機は来る!?

生産者も消費者も知らなかった日本の現状

# 自然農が繋ぐ日本人の道

～日本の分岐点と未来への選択～

「私たちは、何についても百万分の一パーセントも知らない」  
(トーマス・エジソン)

令和7年 6月1日【日】

時間

9:30 受付開始

10:00～11:30

会場

泰寧寺

みなかみ町須川98

参加費

500円

(当日会場にてお支払いください)

定員

先着130名

(要事前申込)

申込み

泰寧寺に

電話 0278-64-1131

FAX 0278-64-1587

お申込みフォーム



または、左のQRコードを読み込み  
お申込みフォームにて申し込みください

後援：みなかみ町オーガニック推進検討委員会 様  
(株)たくみの里 様

協賛：みなかみスタイル倶楽部 様

主催：泰寧寺

講師

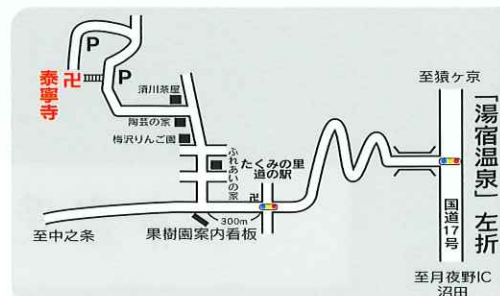


由井 寅子 先生

農業法人日本豊受自然農代表  
自然農百姓  
CHhom名誉学長  
日本ホメオパシー医学協会  
JPHMA名誉会長

愛媛県の農家出身。英国在住中、潰瘍性大腸炎に倒れ、オーガニック食とホメオパシーで回復。2011年、東日本大震災で被災地を回った経験から、日本の復興には、安心・安全・栄養ある食の供給が最優先課題と気づき、2002年から始めていた独自の自然農を本格的にすべく、農業生産法人・日本豊受自然農を設立。サステナブルな豊受式自然農と六次産業化を推進し、自社農作物を生かした食品加工品・生活用品を提供している。体・心・魂を三位一体で癒すZENホメオパシーを体系づけた国際的ホメオパスとして一目を置かれている。

オフィシャルサイト：[torakoyui.com](http://torakoyui.com)



自然農について学んでみよう



# 種をとり、土と虫と鳥と人を 慈しみ、環境を大事にする 日本豊受自然農



日本豊受自然農は、創業時から独自の自然農を営んでいます。

固定種在来種の種を自家採種し、農薬・化学肥料を一切使わずに農作物を育て、それを原料とし、自社工場にて、化学合成の添加物を使わずに加工品を製造しています。

情報元：日本豊受自然農ホームページより転載

## 豊受自然農のモットー

人の身体は食べたものからつくられる  
それ故、食材となる作物・食品は

第一に 安心安全

第二に 栄養があること

第三に 個性的で美味しいこと

第四に 自然と共存共栄し、自然を破壊しないこと

第五に 霊性の高いものであること

そのために農業は種をとり、土壌菌を増やし、くぬぎの落ち葉や竹粉などを堆肥とし、水も汚さず、自然を害さず、生きとし生けるものの命を害さない農業でなければならない。

江戸時代のように大自然への信仰心のあふれる農業と、食への感謝と信頼を取り戻したい。

日本豊受自然農株式会社代表  
由井寅子

## 豊受基準

私たちは、創業時から、独自の基準を設けて、原料の栽培から製品づくりまでの六次産業に取り組んでいます。

- ✓ 固定種・在来種の種
- ✓ 健康な土(土壌菌がいる土)
- ✓ Non-GMO(遺伝子組み換えでない)
- ✓ Non-Gene editing(ゲノム編集でない)
- ✓ 無農薬無化学肥料
- ✓ 放射線照射無し
- ✓ サステナブル(生態系を壊さない)
- ✓ 天然由来
- ✓ 植物由来
- ✓ 無添加
- ✓ 化学成分カット
- ✓ 無農薬・無化学肥料で育てた野菜は全てを使用する
- ✓ 加工食品90%以上が自社原料

日本豊受自然農について→

